



3

盈納法

○ 盈納法
○ 盈納法
○ 盈納法
○ 盈納法

方股術

○ 方股術
○ 方股術
○ 方股術
○ 方股術

曹開從少二

增補年法圖疑抄二之卷目錄

盈納法

○ 盈納法
○ 盈納法
○ 盈納法

方股術

○ 方股術
○ 方股術
○ 方股術

用平法

○ 用平法
○ 用平法
○ 用平法



相度用之

○外化の算術

○帯能周之

○列術

和利乘実陽除商

○六石六斗六拾ろろろ

○車傳令ろろろ

○三乘五乘五乘里法

方曜直

○洛書曜並。瘡産

○四ノ列直。五五ノ列直

○六六ノ列直。七七ノ列直

○八八ノ列直。九九ノ列直

○九九番云く方と如

○十自因列直

相度用之

○外化の算術

○帯能周之

和利乘実陽除商

○六石六斗六拾ろろろ

方曜直

三二九曜直

五五廿五曜直

七七四十九曜直

九九八十一曜直

方曜直

外化の算術

帯能周之

和利乘実陽除商

六石六斗六拾ろろろ

車傳令ろろろ

四十六曜直

六六廿六曜直

八八六十四曜直

十自因百曜直

九く日較ろろろ

圓曜直

○十自因方と並と如

○方と暁と並六六圓。七七ノ圓

○八ノ圓。暁曜並二徑一週と如

○暁曜並暁較ら何徑何週と如

○一徑一週較ら何徑何週と如

○右月め七曜較と如

○方圓ノ曜較ら何徑何週と如

三方並

○下二個より十個止し算

○暁曜並人分暁の事

方曜直

○三方並暁較ら何徑何週と如

○暁曜並暁較ら何徑何週と如

二週四曜直

三週六曜直

四週八曜直

五週十曜直

六週十二曜直

七週十四曜直

三方並

平三角ろろろ

圓取並

平六角ろろろ

方准積

四方較成較ろろろ

三方准積

三方較成較ろろろ

圓准積

九く較成較ろろろ

月ノ入

連積町見

三方准積

。教の方ど如列漸

圖准積

。要法根元

。方准教三方准枝和示

。重正分と如定法

月し如入改し

。子子し男女と如日示

。如ら他人善悪と如

遠根町見し

。町表とて人根并身と道法

。川し度とて人根示

。三樹し人根

。海中海の中し人根

盈胸し如えたるはか

全三友りよすれは七拾七友

式分ちしくは友三系りよ

すれは三拾八友三系りよ

人教と台

言云百五拾五人

法云七拾七友九角半分

七五引勝三十分七五とたよ

重なるて三友と内二友七五

引勝二五とてを割て

布能限二枚亮よ

すれは百七十枚わら

の夜免施とて色是傷

教派教と同

言云傷教或百三十九人

盈 胸 法

増補善法網疑抄二卷

今買物有浪客交と買ハ交ハ是なり

又買目之買ハ拾八友修り買物教何れと台

言云買物教三つ 浪百三拾目

法云拾八と交と合と重なるは拾五

友と内半目引勝りよは是なりと太

と割し付買物教と修り也買物教

一買目と色百三拾目と成是、拾八

加て百本目と加又云く買物教一買交と

色百三拾交と成内交引ても知る

太法しよるは修りよは是なりと合る

浪敷千七百七拾五枚

法云おのちの米拾五斗五升海

浪とけおの浪と別十二石

二斗六升六合六勺六分六厘

是と後の米と別引揚り

六石五斗八升三合三勺三厘

乃定別よ又おの金拾二枚

二五、後の浪と別引揚り

別八斗九八三三三三三三

是と後の金と別引揚り

五斗二六六六六と別法

と別一斗二石二斗五升

おと知し十石五斗三斗

の升と別十二斗五升

五二五引揚一斗五升

白間遊抄二

買物敷より重く下重く遠重く

入る重く白下重と引へ買物敷

ての重く是と別八平均交り

成て買物敷と別けり

至人橋の下と布と

八端りりくま五斗不足七端

と拾五斗とぬす人敷何程布敷

何程と向

言云 蓋人指人 布敷百指

法云日けの八端の内

引揚り二端は是目安

同解五端引揚り八端

且其人敷や人敷と

加して端敷と又六と

ちと重く八端の内

又十二端の内

後には後と月して二人
四方をよきとして入る
所なして他天井仕と
後四指夜もよく一
し四方何れも台

言云 三回四方

法より一人と合九
と夜とよきし早夜より
四百。五歩と夜二人合
四百と夜と早五夜より
百八十歩と夜言合音十
五歩のよきと別よき九
歩し四百歩と別歩の
と法よりと別ハ二
後夜はよ百指夜と夜

四不足の後夜早の
歩りと二五別二十六夜
是二人四方の後夜は
早の夜と知は八指夜ハ
二人四方の後夜は八十夜
二人自圓の早と夜二百
二十歩と夜は六人自
圓二十六歩と別は
九歩と夜は六人自圓除
二五四方と知は二人
四方の後夜は二十夜と知
より付は六夜は九歩
とて七二百二十歩
は八歩は六人自圓
六歩と別は同歩

方股術

想直後浪三拾六女
傳義一冊浪三下
本年記二冊浪九下

法云を女下
六ト女は六女
六れ別は
本年記それ
浪は目
よ分して
あふて
一人何れ

八拾人多る一人
言云 女の人
想直後 目拾五

法云は日
女の人
たてて
あふて
百拾間
法云は日
あふて
法云は日
あふて

却て通と細と
 方股樹と通と二十回
 帳八十回係二回と
 是と五千坪と帳分埋
 かり何れ埋りといふ
 言ふと拾回。八分二寸と
 法と七百二十回係二回と
 是二百四十坪と帳分埋
 坪と割り
 長百二十回帳八十回係二回
 坪と五千坪と長
 埋り何れ埋りといふ
 言ふと三十二回係五坪

法と帳八拾らる係二回と
 百六十坪と帳分埋り
 長百七拾回係二回
 坪と五千坪と係埋り
 何れ埋りといふ
 言ふと長百二十回係八十
 回と係九千六百坪と
 是と五千坪と割り
 長百二十回帳八十回係二回
 の坪と五千坪と帳分埋
 り何れ埋りといふ
 言ふと六分六厘八分七
 法と五五千坪と係埋り

言ふと五分六厘三寸六分八厘
 法と百二十拾回と係合を万四千四百坪と
 又百二十拾回と係合を万四千四百坪と
 百拾六厘の是の中の地取の係は
 是合を万二千四百坪と係は
 是合を万二千四百坪と係は
 三回と係は千八百二十拾坪と係は
 の坪は是合の中は是合を万二千四
 百五拾六坪と割り二寸。四六と係は
 六五と割り二寸と係は
 百二十拾回と係は地取の係は
 是合を万四千四百坪と係は

是の中は地取と係は二寸六分八厘
 是合を万四千四百坪と係は
 又百二十拾回と係は地取の係は
 百拾六厘の是の中の地取の係は
 是合を万二千四百坪と係は
 是合を万二千四百坪と係は
 三回と係は千八百二十拾坪と係は
 の坪は是合の中は是合を万二千四
 百五拾六坪と割り二寸。四六と係は
 六五と割り二寸と係は
 百二十拾回と係は地取の係は
 是合を万四千四百坪と係は

八分六厘七毫と定むる重
て重再自固して千坪以
て重八百六拾坪。八六七の
次に倍と入るるは自固
二二四メ二百ありは是も
一初刻の二寸と考へ
板厚と二尺二寸と重は初
教後より今し二寸と自固
メ二寸と一尺二寸と二四一も
の二尺と重は二六四も

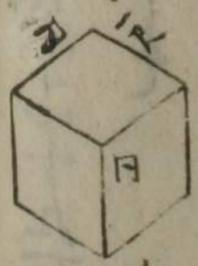
一位之 數号	塵微毫一千兆埃洞極
十位之 數号	沙忽厘十万京穰正
百位之 數号	埃纖糸分百億行溝載

寸坪千八百六拾坪。八分六厘七毫は是も以
一位用之法を用方人何程と旨

吾云方と人二寸二分

一初刻の二寸と考へ
板厚と二尺二寸と重は初
教後より今し二寸と自固
メ二寸と一尺二寸と二四一も
の二尺と重は二六四も

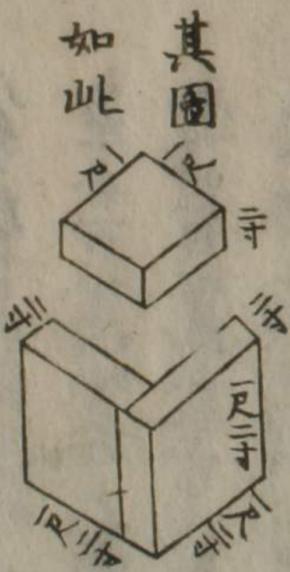
其圍
一三寸も一尺二寸と重
二寸と九九少らびて二寸の六百坪は二六
百六拾坪は二四一八坪は



一三寸も一尺二寸と重

して重と一初刻二寸も
二十と極の重を百廿二坪八
六七の二寸もと入るるは
たしく法二六四と一初刻の
して三寸と考へは法
板厚と二尺二寸と重は初
教後より今し二寸と自固
メ二寸と一尺二寸と二四一も
の二尺と重は二六四も

是之初も人二寸と重は是も
一二の高も人二寸と重は百六拾坪は
成又別は初も人二寸と重は百六拾坪は
とたしく初は二百六拾坪は是も今も
二寸と九九少らびて二寸の六百坪は二六
百六拾坪は二四一八坪は



其圍
如此
法は人二寸二分と重

商實法 應開

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九

商實法 應開

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	一	二	三	四	五	六	七	八	九

乘廉加
得二天又
以廉加
乘法也
又加
因廉加
其時法
三百吉屋
三天隔一
也板法
一行下隔
二行下隔
三行下隔
又二高

寸坪之億八万六千。八拾六坪七分五厘
用之法。用方尺何程之也

言云 其尺等。九厘五毛五厘

不畫四等七毛。七厘五微九三二五

右行法。位十位百位。皆行斗之

今口等。九分四厘。法寸七分。其有

是之相應。其并合。多少。入之。仍之。九

口之方何程。法之何程之也

言云

一守寸。七厘。八毛。二守寸。六厘。五毛

法。三守寸。九分。二厘。五毛。合百拾七坪。六分

相應開立法

考二寸。一厘。湯と今
二寸。一厘。湯と今
成る。二厘。と今。と九
九。二坪。と二。と六。と十。と二
二。と四。と八。と一。と三。と六。と十
四。と八。と一。と三。と六。と十
二。と九。九。と二。と二。と三。と六
坪。減。二。六。と百。と坪。減。二。四
八。坪。減。而。止。其。余。百。二。十二。坪
八。六。七。七。と。有。り。二。厘。二。と。毛
二。寸。と。乘。廉。加。三。尺。等。と
減。是。二。寸。と。毛。二。寸。と。九。と
坪。二。と。一。六。十。と。二。四。と。八。と
法。加。之。隔。と。二。と。毛。二。厘。一
廉。加。之。見。る。時。法。の。四。百

を合式与守升

口式寸四分五分

を斗八升合升

口式寸二分七分八

を式式升升

口式尺守寸五分

今長を丈六尺。幅五尺。式寸。厚一尺。八守寸。の

右一尺十位百位。と。法。遠。る。人。寸。遠。し。也

三十二歩原の三丈六寸満一也
 扱法と一行りる原の二行下
 隅の三行り扱三にも二を
 見立隅に因て原に如く二丈
 六寸三分一減を二合に二分
 と九九と併て三三三九歩
 三六七一歩八分三三九歩
 加る法四百四十二歩八分九
 分と併ても二分九分九
 寸三四一十二坪減一
 減一三八二二分四厘減一三
 九一五七七毛減掛
 井造より二坪と十坪と
 二坪と二十坪と見合

三坪の井外五坪とも其
 後直之二十四坪五歩
 坪とん常し用之
 除得るもよとと
 井の口等九分と
 新井もこのすく
 深こと知ん二寸と
 因之其示ぬ
 三坪或合ありと千分百五
 拾坪とん用之除得一〇七
 七二と七つとた坪の台と
 と是今の口と知んよ一
 坪の深こと是今の深
 とは井式句の寸と百坪と
 見同之と除得五毛と

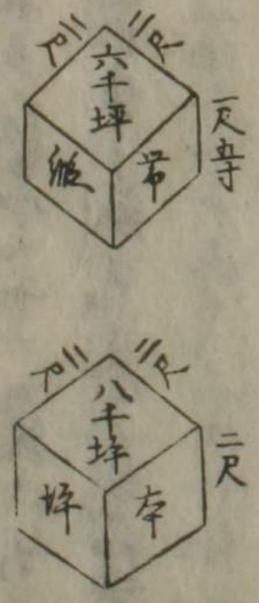
法立用後帶

平扱は坪扱の八倍とては平扱は
 作りしうも長幅何程元と

是と長三丈二尺幅一丈。等原三丈六寸
 扱と長三丈六寸と式度合是と八と
 是用之法除長の八に扱は長と右
 平扱幅と是と平扱も長と右
 今の平扱幅と成入今の平扱の長
 したる平扱の長とけは平扱も長
 とて別今も平扱の長と知
 寸坪式万式千四百六拾四坪と是と
 日大よと八と八と寸とくは是と

是と 縦横二尺四寸 三丈九寸
 扱と定式万式千四百六拾四坪と是と
 高二丈と是と二二八千坪引又帯扱の
 是と今の高二丈と是と合皆よと
 成是よ帯扱と八寸と九九と
 一四と千坪引四五と式と坪引

其圖也



是と八千四百六拾四坪と是と
 是と初は高二丈四寸と是と初は二丈

口の式は魚今し口のすく
 入あまの升の海と魚海と如
 そ斗式升の合とさ方二
 千五百坪見用之除得式
 三二〇七九とそん升の口はす
 とけ今の口のすく海との
 すとけ今しゆと也
 何程しれし思おとせむ
 の心は月名之平徳長持
 桶す切しおの木船櫓
 船のふりし金糸のん
 獅子の約物多しれとせむ
 お魚くぬれ海てさるむ
 坪と武の倍さすかも
 への何割とさ坪とせむ

と加一人守と成是よ初はと二尺
 守と魚千〇二十六歩と成又初ありけ
 合皆あり成は成と千〇五拾六歩と
 加千四百拾六歩と成是と今より守
 と九九と一四と四千坪川四の五六
 百坪川四五と式百坪川四六の五四坪
 川又帯後の手五六初はの五式尺
 守と初ありと加一人守と成是よ
 今より守と魚百七拾六歩と成是帯
 後と尺ありと九九と一四と百と初と七
 二と千坪川五の五百坪川七拾と初と七

好い牙たてとてお考と
 たとへの何とせむ坪とせむ
 直又好財のむおし一方は
 再自固メ倍くお美用
 之法を除く相直し其
 正と如く又幾坪とて相
 直と化度と好財へのの
 幾坪とむおし一方は
 再自固メ乗れお美用
 又むおし幾坪と除其
 幾坪と坪とむ再美用
 之と除て如く其
 之卯形と部と有故不
 之可試なり

一七の七百坪川五七と三百拾坪川五
 と初と七と二六と六坪川五六の三坪引
 其圍如此

右は好り坪と付ハ位やのて式拾四回
 小三拾九間九二百拾るよ二百九拾間
 右知得也一は外相直帯後の初と
 之れ道有妻ハ口也く
 級令来ぬると年し始れり一年は言ふ
 中初と六と七と初と年何より

本言し後二万二千四百六
 十四降之美と重なるしよ
 初之位と考へも二人と
 再自因メ八千降減し又
 商自因メ一帯後一尺守と
 乘六千降之美を減之
 止余八千四百六十四降美
 有扱法を初も二人と
 重と定之と乘六尺是よ
 帯後倍之三人加九人と
 成是れも二人と乘七千
 八百守と成是れて美と
 一初降公メ以て守と
 尺立扱今し法千八百守
 と扱是れし初は法初也

商二尺四寸と之析扱
 有り今し守と自因し
 上し二人守と定之と商
 又初商二人と乘千四
 百五十六守と扱初も
 二人四寸初も二人と加
 四人守と成是れ一帯
 後一尺四寸と乘六百六
 十守と成是れ法を
 加し法二千百十六守と
 是れ以て美と除定
 二も守と知り
 六石六斗六拾石と
 有是れ六石六斗と六年倍
 之利六石と成之は後

和利乘實蹄除商之次第

利是し商のいごと同
 吾云 外式和利と商
 初と本利とん六石と重本
 別ハ二と成は内ハ本二利是と
 後令来石と武年と守利と小
 七石武斗と守時何刻と商と
 吾云 右日有
 初と本利とん七石武斗と重本
 右刻ハ一石守年と成は内用年
 後令石と三年と守利とん六石
 守時何刻と商と
 吾云 右日有
 初と本利とん八石六斗守と重
 右石と刻ハ一七二八と成は内用年
 後令石と四年と守利とん六石
 守時何刻と商と
 吾云 右日有
 初と本利とん拾石三斗守と重
 右石と刻ハ二七三六と成は内用年
 法ハ二度除り
 後令石と六年と守利とん拾石
 守時何刻と商と

吾云 右日有
 初と本利とん八石六斗守と重
 右石と刻ハ一七二八と成は内用年
 後令石と四年と守利とん六石
 守時何刻と商と
 吾云 右日有
 初と本利とん拾石三斗守と重
 右石と刻ハ二七三六と成は内用年
 法ハ二度除り
 後令石と六年と守利とん拾石
 守時何刻と商と

五石を除得二〇七三六の
 之をけしと析し商一と
 三乗より一と減止余一
 〇七三六より有別之法
 一と自因メ四尺乗以之
 一と析除くはメ法も二と
 又之を法と破算メ又
 別と初法と商一と
 二析下ては二げり自
 因て二〇〇四の初内
 上し一二より一三と乗
 入るは初も一と乗メ
 三六四の初は二入初
 も一二と因一四三六八の
 又別と初も二と再自因メ

一也其法在加て作五
 六八の初は法之を二除
 定こても二一初
 四乗の初拾二石四斗四升
 五合六勺と五石を除得二四
 八八三三の初は二初
 商一と之を乗メ得一と
 一と減之 上余一四八八三
 三の初は法之を自因メ
 五と乗一初之を二初
 除くはメ法も二と
 初法と破算メ又別と初
 も二と二と二析下り
 もと自因メ二〇〇四の
 四二二の定二と乗又初も

式方と重五石と別二九八五九八四の
 是法用年とそを度除之又用之と
 そを度除と商と一初
 縦合五石と七斗と拾七石九斗五升
 五合九勺。凡れ初何別と商と一初
 三三三 上日あり
 初と本利を拾七石九斗五升五合
 九勺。凡れと重五石と別二九八三二
 八〇八の初は二と重商一と之を度
 掛合ては二と重が別法て二五八三二八
 六と重初も二と之は二初も二

三度掛合て一初別と又初も二と重
 二初も二と重二と重合二二〇〇
 は二二げり二と重二六〇〇甲は二六
 かり初の二と掛二六〇〇初も二と重
 七二八の初は二と重二初も二と重
 初も二と重二初も二と重二初も二
 二と重合二と加て二二〇〇甲は二六
 一二げり二と掛二六〇〇甲は二六
 げり二初も二と重二初も二と重二
 初も二と重二と重二初も二と重二
 初商一と二と重合二と加て五三

一と案一三六甲八入と
 初は二と二と二と案
 得五三四六別と初もと
 倍メは二と加一三二と
 是初も再自因メ案一
 二二と二と二と五二四二六
 加て候七四四二六と候
 案と除定ひ二と二と
 五案と候之事も書
 同平と用之除く候
 候も予り見之候と候
 たり候も書候と候
 六石と六平一と拾石
 九平二并九合九と二と
 一何時刻とあり候と向

初と拾石九平二并九合九
 夕二と並石と刻二九八九
 八四と候も書候と候
 高くと五案と案
 減止余一九八五八四と
 有別と候一自因メ六と因
 候之一折除候メと候と下
 見互取候と候并メ別
 初候も二と二と二と折
 今と二と自因メ初も一と
 上と二と二と案み是と
 候り定二と案三六四と
 候是れ初候も二と三
 度案一六二八九二と候
 別と又候と三六四と候

六八と候別と初候も二と二と二と
 合一七二八と候是と候五三六八と
 九二七五九。甲候是と今も二と九九と
 候びて二九と拾八二二と甲二七と十四
 引二五と十引二九と十八引合候と二四と
 八引拂候と候
 候合五石と八平一と三拾石七平九并
 九合。八と四八八と候一何時刻とあり候
 首と 右月前
 初と中候候候候拾五石七平九并八合
 八と四八八と候一何時刻とあり候
 候合五石と九平一と五石七平九并八合
 九。これ七と六と案と候一何時刻とあり候
 首と 右月前
 初と中候候候候拾五石七平九并八合
 九。これ七と六と案と候一何時刻とあり候
 候合五石と九平一と五石七平九并八合
 九。これ七と六と案と候一何時刻とあり候

九六と候是候候候候候候候候候候
 と候候候候候候候候候候候候候候
 候合五石と九平一と五石七平九并八合
 九。これ七と六と案と候一何時刻とあり候
 首と 右月前
 初と中候候候候候候候候候候候候候候
 九。これ七と六と案と候一何時刻とあり候
 候合五石と九平一と五石七平九并八合
 九。これ七と六と案と候一何時刻とあり候
 候合五石と九平一と五石七平九并八合
 九。これ七と六と案と候一何時刻とあり候

是上初も一三三三三三三三三三
三六四三三三三三三三三三
八九九二、加て九九二九九
二二二二二二二二二二二二
定法も二二二二二二二二
右の六三三三三三三三三三

何刻よきありとて台

答云 右月あり

測る本刻は三拾石。九斗の并八人台
字八分二札一重一重抄三三三三三三
刻六九二七二六四二二四一八三三三三
周年を除け六二四八八三三三三三三三
五年の算は必成るは凡三三三三三三
五年の測り月ひもは必なり

如く並物入るは
併活書く並入如なり也

二	七	六
九	五	一
四	三	八

方曜直

是上三と乗之二十七
七と並入七三三と乗二十一
は四一と並之偶入は倍
二と自乗ノ四は並是よ二
と自乗八と並是九二と乗
十は内六と並之中央
右活書く如く併と
左の六三三三三三三三三三
たは六三三三三三三三三三

三三九曜之直

八	三	四
一	五	九
六	七	二

如此あり九正書あり

番書三三三三三三三三
後撰も角分角了
十五元あり也

四四十六曜之直

十三	十二	六	三
一	十	八	十五
四	七	九	十四
十六	五	十二	二

如此あり十正書あり

番書三三三三三三三三
三十六也後撰も
角より角も三拾
四元あり

番書(抄)教字。五十有
方車(自)固(同)者十自固
御(之)字。五(之)倍(一)方。百(之)美
一(之)級(同)平(之)倍(百)個(之)又
帝(同)年(之)十(自)固(之)何(以)以

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
空	空	空	空	空	空	空	空	空	空

十自固百耀之直番書字。五十級換角

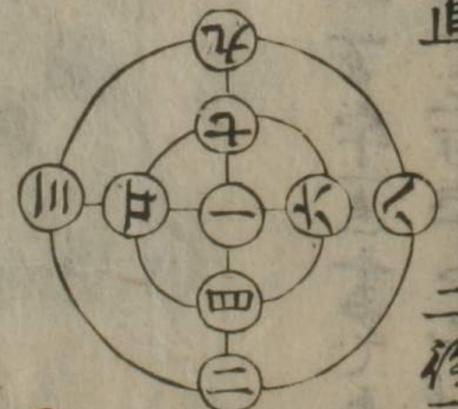
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六

方車(一)方(之)並(數)五(百)五
有(自)固(之)教(之)同
吾(曰)十(自)固(之)云

御(之)五(百)五(之)倍(千)十(之)
為(實)一(帶)維(之)開(之)法(之)
除(而)知(之)他(一)帶(維)之(亦)
帶(維)之(可)知(得)也
方(車)之(付)不(殊)圖(之)書(頭)
車(之)定(法)作(意)之(何)
依(之)成(維)之(云)依(之)而(定)
方(車)之(輪)之(了)以(之)方(之)
並(之)教(之)內(依)之(圖)教(化)
十(之)級(令)六(六)之(方)車(之)輪(之)
惟(之)七(各)百(十)之(七)十(之)各
百(七)十(之)八(八)者(各)二(百)十(之)各

圓 曜 直

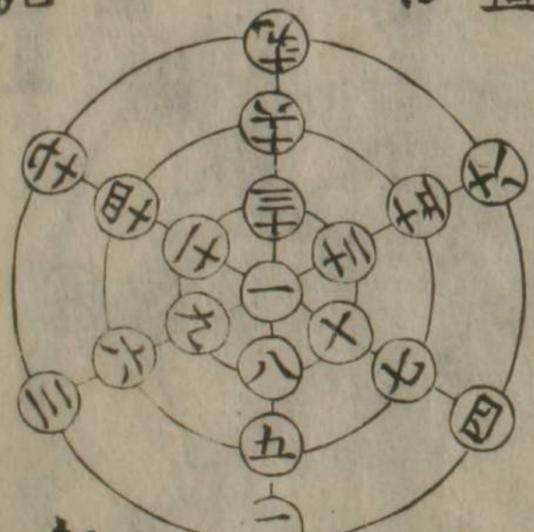
二迴四曜直
一(之)九(之)也
番(書)合
四(拾)五(有)



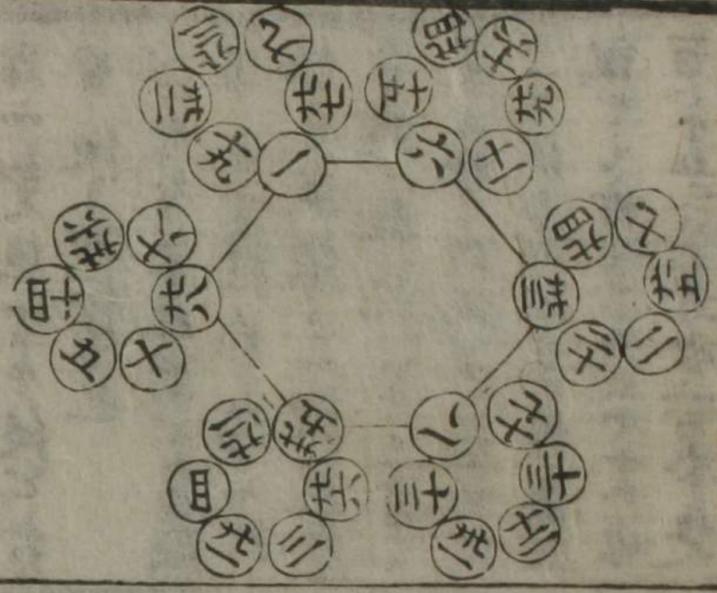
二(徑)二(迴)何(之)也
二(十)二(九)並(之)
中(之)一(加)而
何(之)也
二(十)三(九)也

三迴六曜之直
一(之)十(九)也(番)

番(書)合
百(九)拾(也)
三(徑)三(迴)
何(之)七(六)三(九)

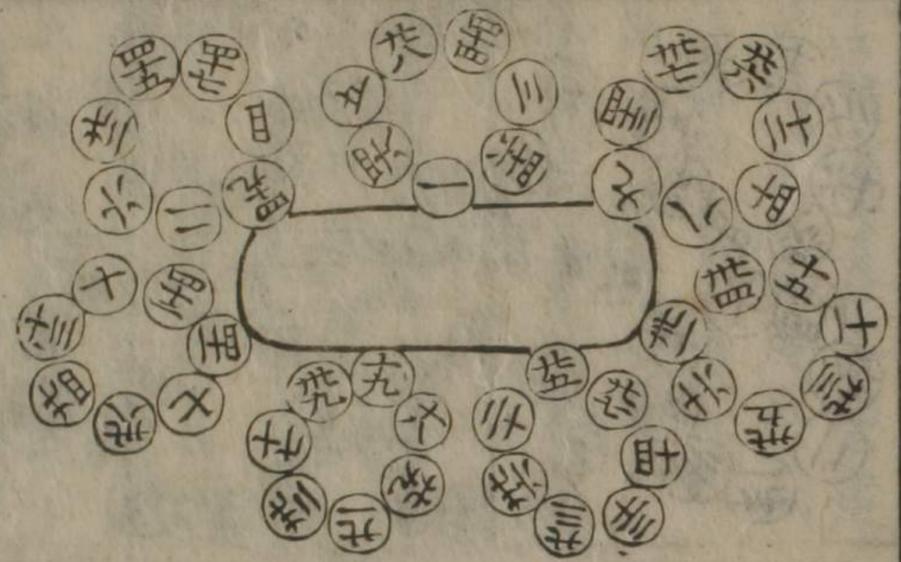


中(之)一(加)而
加(之)八
何(之)六
六(十)四(九)
中(之)也



右六六三十六之輪直
 一个所一廻者百一十二

七七四十九曜之輪直



右廻百七十五個
 八六十四之輪直

四廻八曜之直

一六三十三直

書書之合

五百六十一

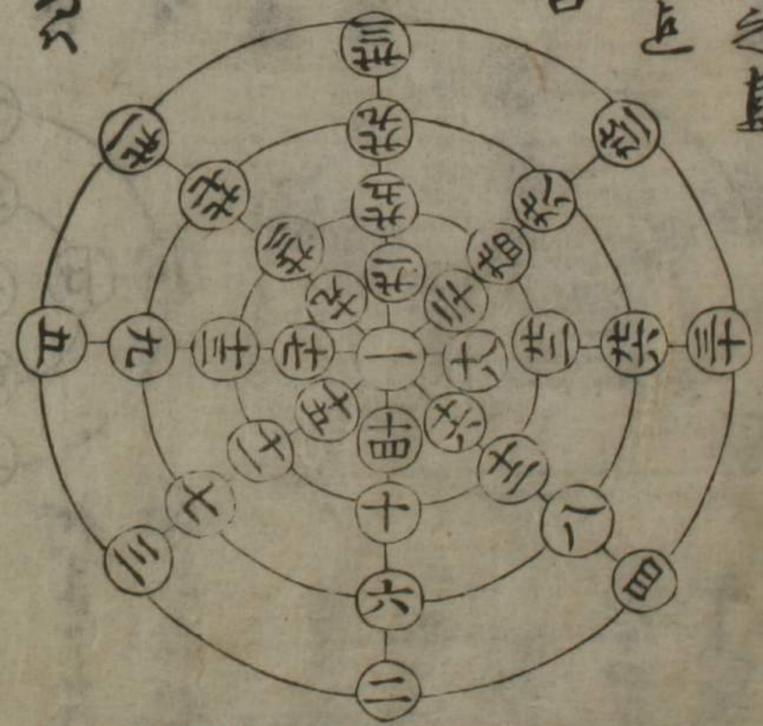
四徑四廻

何也

百路花

中一七加

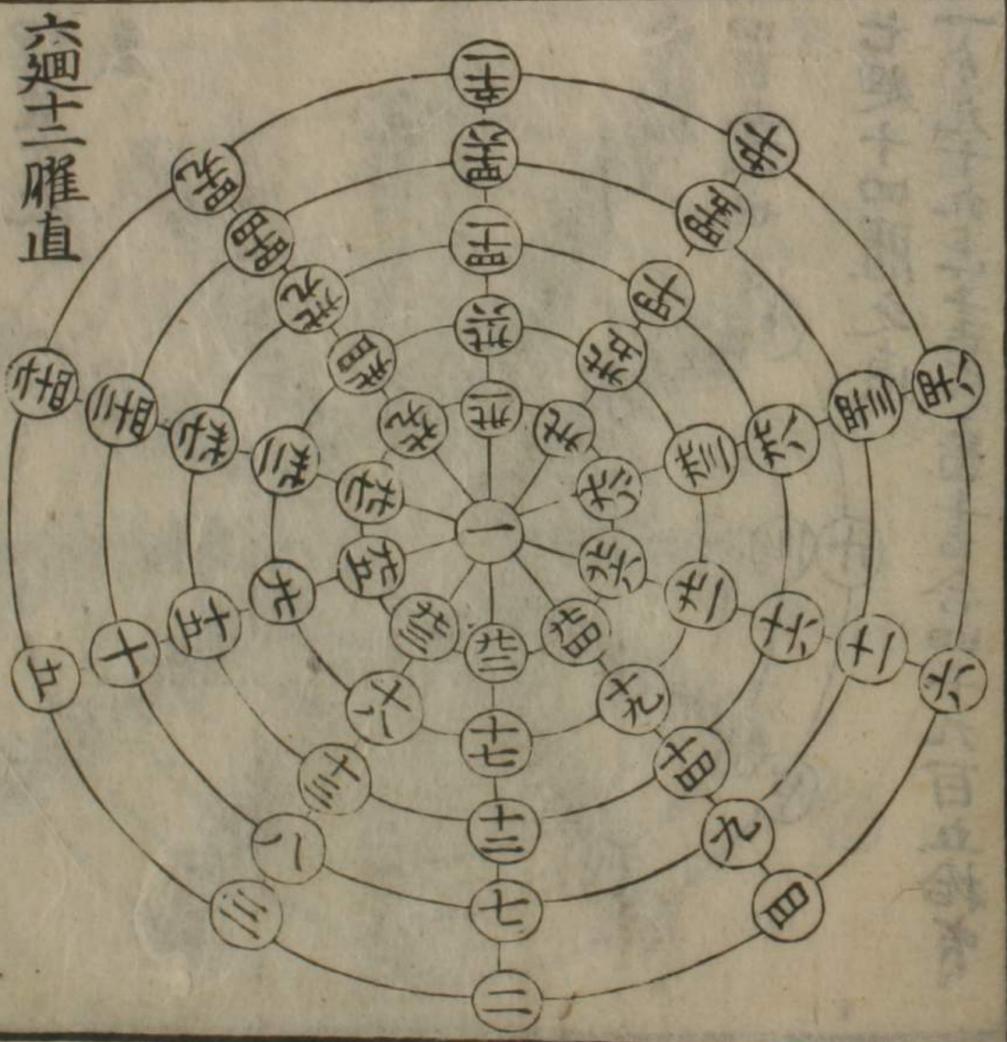
百路花



五廻十曜之直 百字直書之書之合千

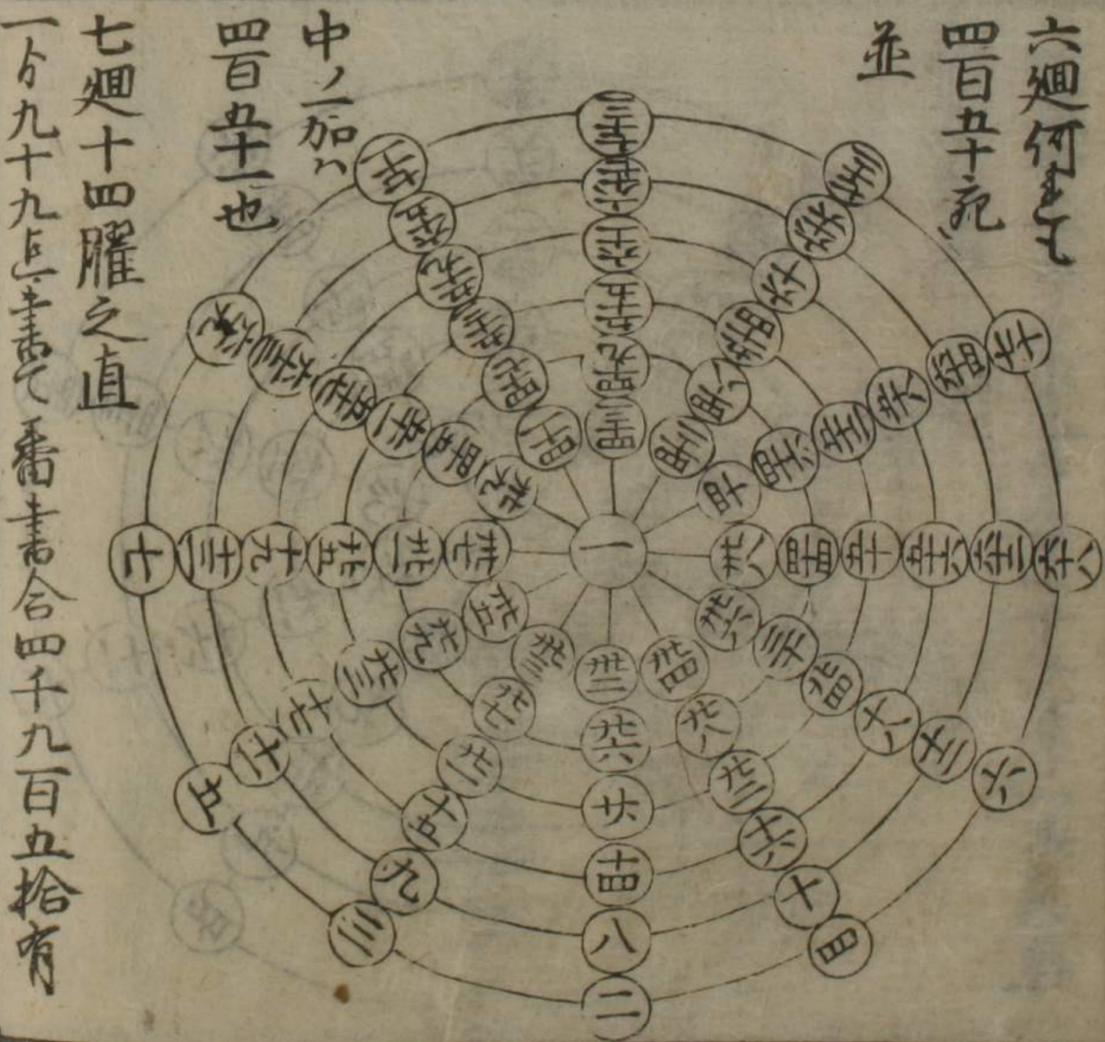
三百二十有 何也 二百字之

中一七加
 二百字之



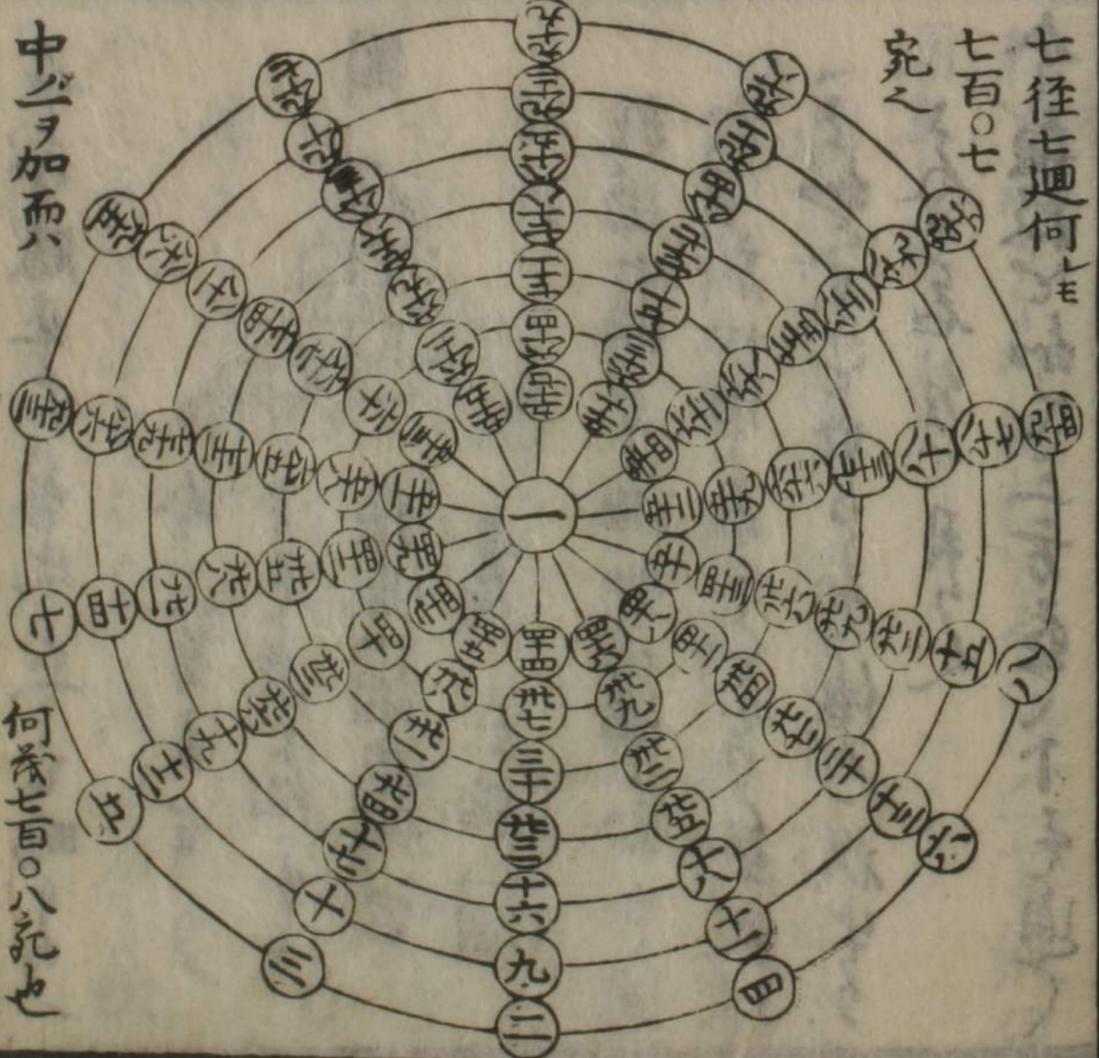
六廻十二曜直

一六七十三直 書書合二千七百。一有六徑



七廻十四曜之直
 一ノ九十九点書て番書合四千九百五拾有

次曜直一ノ九十九点書て
 七徑同教也二徑一廻教と同
 吾曰七首。七個宛
 術白下九十九ノ合折半ノ
 五十也是九十九ヲ圓四千九
 百五十一ノ餘是七ノ倍ヲ加
 越是之教四千九百五十一也
 亦既直ニ並テ徑也同
 吾曰七徑七通
 術白四千九百五十一ノ倍九
 千九百也乃等是二一帯流
 之同年ニ除得書流之九千
 九百内一減止余折半ノ七
 甲九ノ餘是七ノ同年除却之
 廻七徑七首。七有也徑高



中ノ加ハ
 何七首。八宛也

得八枚より方也
園雁直番書し終り
方雁並し終り九十九
其ハ方之廻し場有る何
れ也

善云 方八自因
九十九廻

御曰九十九廻より一と減
止余九十八は九一廻と
自因而加へば九十九と
なり矣是倍二は乃帯
縦用平法除得九徑也
其雁直廻教し四方雁
並し廻教と減止余三十
七百十五有方廻り教名と同

善曰 方七自因
七徑七廻

御曰二十七百五内一と減
て止余と三徑得千二百四十
一三三二と倍之二十四百八十六
六六の美別一個と五分五
厘除得六分六厘六毛と毛
一個加一六六と乃帯縦と
用平法除得四十九
是ハ又用平法除得
七枚也
三方並下一通と取て
同し候也
下二より時八日月三光と
下三より時八三光と六道と

並 取 形

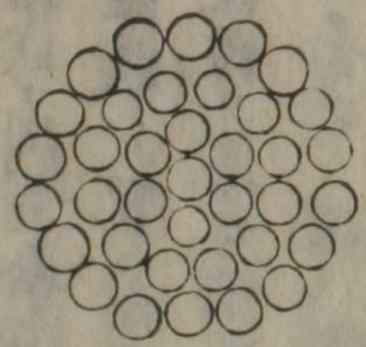
善云 式拾五個

法云七個二個加拾枚是と二割
五個の取板七個より二個の五個は是
と右五個の無廻教と知是と世り
そは板の取と云は根元よりあり
此七個より二個引きたるより一
の枚取点ハ二徑よりありしは
一徑より引くは換法よりあり
積三間廣七ら長五ら積腰より
又算板に法と知る
今廻教二十五個有とて枚五三個より

善云 七個

法云三個の内より二個は是と
式より別より三個と廻すより三個
是と廻教は式拾八個の取は
是倍より五拾六は是ハ一帯縦
長平の除也

圖



法云廻り拾八より加式拾甲は

今取板並し廻り
拾八個有廻教と云
善云 三拾七個

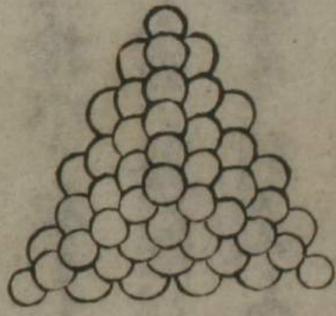
法拾二と因得二千九百五十二個と別は二個と定一
 加へ候三個と定二個と因
 六個と候は六因ノ
 三十六個と候は内ノ
 減之上余二千九百十
 六と定七降ノ得四百
 十六個五七二四八五七二
 四三六と候は之別は
 二個と定十二乗ノ得二
 十四個と定十二個加
 候は三十六個と候は
 七ゆメ五個一四二八五七二
 八五七也ノ帯級之周平
 法ノ餘と候は垂て也と定

積錐方三

法拾二と因得二千九百五十二個と別は二個と定一
 加へ候三個と定二個と因
 六個と候は六因ノ
 三十六個と候は内ノ
 減之上余二千九百十
 六と定七降ノ得四百
 十六個五七二四八五七二
 四三六と候は之別は
 二個と定十二乗ノ得二
 十四個と定十二個加
 候は三十六個と候は
 七ゆメ五個一四二八五七二
 八五七也ノ帯級之周平
 法ノ餘と候は垂て也と定

一酒と引掛高敷列下を通の敷也

圖



今三方堆積下を通
 六個を敷敷と云

云云 五拾六個

法云下を通六個と
 個如七個と候は下

を通りの六個と候は二個と候り
 別と入右に六個と候は八個と候は
 右の四拾二個と候は二百二拾六個と候は
 累積と云へ別敷敷と候也

今敷敷五拾六個有は三方堆積メ

下を通と云

云云 下通 六個

法云敷敷五拾六個と候は二百
 六個と候は法云と云 高六個と云
 是と法云二方ノ合二百十六個と候り
 是と法云引掛て百拾拾個と云と云り

敷敷帯級の引掛今のも六個と候合
 三拾六個と候は一の帯級と九九と候
 一二の二拾個引一六の六個引法
 八拾四個有入も六個と候加七個
 と候はももの六個と候は四拾六個と候
 是と二の帯級の九九と二四の八拾個引

法云と云十八個と
 候は二百。八個と自減法
 二百。七個と定十二と乗得
 二千四百八拾個と候は七ゆメ
 得三百五十四八五七二と候は
 別と十二個と七ゆメ得一個
 七二四二八五七二と候は帯級之
 周平法ノ餘得十八個と

右三式之定法十二と定
 引の率法形並法ノ入
 七と引の二方並法ノ入
 法形と六個有は南の如也

六個と二箇メ二個と或はと二箇二箇兼四個也 又別は自國四個
倍し八個と或は合向為十二個と或は二個加十二個と或は二箇
倍列と又或は二個と二箇メ十二個と或は三箇メ四個と或は二箇加八
供三個と或は二箇メ四個と或は三箇メ四個と或は二箇加八
貫同天之主と二箇取て二箇天之主と重て高サと同六貫天之主一八六
兼也 兼合の貫八寸九と五と或は通て倍付八寸五と或は定法と兼して
一尺四寸九分二厘八毫と云也

下二箇と二箇付者定法一八一六三七八と可兼
下四箇と二箇付者定法一七〇七二と可兼
下五箇と二箇付者定法一五二六と可兼
下六箇と二箇付者定法一四二六と可兼

貫八寸と五と下二箇と云



一尺四寸九分二厘八毫

月之出潮入汐之事
朔日 十六日 四 卯 日出酉 日入
二日 十七日 八 同 同
三日 十八日 十二 辰 戌
四日 十九日 十六 同 同
五日 廿日 二十 同 同
六日 廿一日 廿四 巳 亥
七日 廿二日 廿八 同 同
八日 廿三日 三十二 午 子
九日 廿四日 三十六 同 同
十日 廿五日 四十 同 同

月之出潮入汐之事

Table with 10 rows and 4 columns: Day (朔日 to 十日), Number of circles (十六日 to 廿五日), Direction (四, 八, 十二, etc.), and Time (卯, 辰, 巳, etc.).

五月に紅毛の...
 知ての...
 の...
 乃...
 考...
 神...
 先...
 孕婦...
 三月...
 女...

五月 男子

例...
 三月...
 女...

十日	廿六日	四十四	未	丑
十一日	廿七日	四十八	同	同
十二日	廿八日	五十二	申	寅
十三日	廿九日	五十六	同	同
十四日	晦日	六十	同	同

右月...
 時...
 分...
 時...
 分...
 分...

例...
 七月...
 女...

七月 女子

例...
 十月...
 母...
 乃...
 例...
 又...

例...
 月...
 月...
 月...
 月...
 月...
 月...
 月...
 月...
 月...
 月...

中ふ小舟とてをこせして又虎扱ま竹の立本は我立本のり
打て虎扱ま竹とてはゆりし小舟は竹の川とてはゆりし
竹と我のり敷とて川お流る分と川の廣とて知る之又とく
そととて二人とて四方扱と角が角とて切て木切角と本と
之と竹とて竹のり敷とてはゆりし小舟は竹の川とてはゆりし
角ふ人南又竹方とて我舟の立本は我立本のり

切らる角
人南とて
知る之

右板の園如流



いせとて竹とてはゆりし小舟は竹の川とてはゆりし
竹と我のり敷とて川お流る分と川の廣とて知る之又とく
そととて二人とて四方扱と角が角とて切て木切角と本と
之と竹とて竹のり敷とてはゆりし小舟は竹の川とてはゆりし
角ふ人南又竹方とて我舟の立本は我立本のり

之樹は又板の色と竹の色とてはゆりし小舟は竹の川とてはゆりし
竹と我のり敷とて川お流る分と川の廣とて知る之又とく
そととて二人とて四方扱と角が角とて切て木切角と本と
之と竹とて竹のり敷とてはゆりし小舟は竹の川とてはゆりし
角ふ人南又竹方とて我舟の立本は我立本のり



竹のり敷とて竹のり敷とてはゆりし小舟は竹の川とてはゆりし
角ふ人南又竹方とて我舟の立本は我立本のり

